

# 08/14(金) 東京(成田) ⇒ アディスアベバ

夕方から参加者全員と待ち合わせをし，食事を取って出発。



途中のアディスアベバ（エチオピア）は，特に軽食をとったりする場も無く，Wi-Fiも使えなかった。

更に約14時間座りっぱなしだった為に参加者の疲労も少し目立っていた。





08/15(土)

アディスアベバ ⇒ コトヌー ホームステイ先へ

無事コトヌーに到着。代表ゾマホンと現地スタッフがお出迎え。  
その後、ゾマホン実家にお邪魔し食事をしながら顔合わせ。



スケジュール詳細を参加者にお伝えし、  
少し時間を費やした後に、それぞれのホームステイ先に移動。





08/16(日)

## Adjohounにて現役青年海外協力隊の活動訪問

現役青年海外協力隊員の川口莉穂（かわぐちりほ）さんの任地訪問。  
現地語のみで会話をする姿に，参加者一同驚いた。  
村を案内してくれ，食事も振る舞って頂いた。



個人的に印象に残ったのは，現地言葉も分からない参加者が村の子供達と打ち解けていて，溢れんばかりの笑顔を作っていた事。

日本ではなかなか経験の出来ない言葉以外のコミュニケーションによる笑顔も，アフリカホームステイの醍醐味だと改めて感じた。





08/17(月)

Ouidah (ウィダ) にある「帰らずの門」と「蛇の寺」へ  
市場にてパイナップルを食べる  
川下りをしながらマングローブを見る

奴隷時代の事が描かれた石碑を見学。ガイドを通じて、当時の壮絶な行いを学んだ。その後、「帰らずの門」を訪問。



「蛇の寺」にて、蛇を首に巻くというイベントも体験。

その後市場を回り、日本とは比べ物にならない美味しさのパイナップルを食べる。そして、川下りをしながらマングローブを見た。

バスの故障やスケジュールもかなり詰め込んだ事もあり、帰宅はかなり遅くなってしまった。





08/18(火)

## 小学校訪問, Ganvié (ガンビエ) 水上都市へ

小学校を訪問。既に夏休みに入っていたので授業は無かったが、今回の訪問の為に生徒と先生も集まってくれた。参加者の自己紹介と、生徒達に対しての質問を幾つかさせて貰った。



その後、水上都市「ガンビエ」を訪問した。

1717年頃から、奴隷になるのを恐れて湖上に住み始めたそうだ。

湖の上にある家と、移動も全て小舟でする光景はまさに異文化だった。



# 08/19(水) ベナンからガーナへ移動 (途中でトーゴを経由) Sogakope泊

ベナンからガーナへ移動。走行距離は約500キロ。日本のように整った道は少ないので、非常にハードな移動となった。

ベナン&ガーナのVISAは事前にとっていたが、時間が無かったのでトーゴのVISAは当日国境付近で取る事に。

日本では経験する事の無い、陸路での国境越え。

国境付近やVISA申請時は少し緊迫した空気も流れる。賄賂は要求されなかったが、職員の機嫌を損ねないようにこちら側から積極的にコミュニケーションを取っていく事がコツ。

トーゴでは昼食をとった。日が暮れる前にはガーナ入りをしたかったのですぐに出発した。

ガーナには無事入る事は出来たが、夜相当遅い時間になっていた為に、首都アクラ入りは断念し、ホテルにステイする事にした。

就寝前に少しアフリカミュージックをかけて皆で歌って踊った。

(勿論未成年はジュースを飲用)

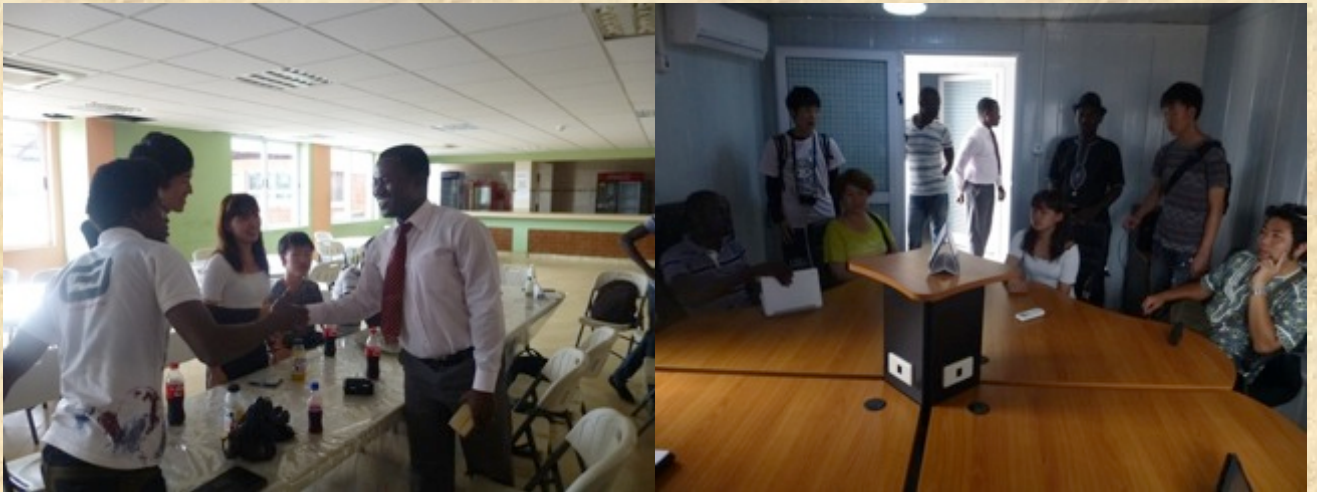




08/20(木)

ガーナ首都アクラにてカカオ工場訪問後，ホームステイ

ガーナの首都アクラに着き，AYINAガーナスタッフのKofiと合流。  
大学内食堂で食事を取り，カカオ工場を含む企業を数社訪問した。



その後，AYINAアフリカのリーダーであるDamienと学校で会い，  
暫く子供達と交流した。そして，それぞれホームステイ先に移動し  
た。

ガーナはベナンと比べると経済的発展が非常に著しいのが印象的  
だった。

前日の長期移動による参加者の疲労が少し心配だった。数名体調を  
崩している者もいた。





# 08/21(金) クマシへ移動 カカオファーム見学

クマシへ移動し、カカオファームを見学。

ガーナのカカオの大半は政府間取引されている事や、カカオのチョコレートとしては利用出来ない部分も農家の方々の収益を上げる為に、全てプロダクト化されている事に驚いた。





# 08/22(土) クマシにてNGOを営む日本人の活動見学 文化センターにてお土産購入

クマシにて、元青年海外協力隊で現在は聴覚障害者支援をメインで行うNGO「タツノオトシゴ」代表である丸山ちさとさんにお会いし、活動先や活動の一環であるパン製作の状況を説明して頂いた。



その後は、文化センターや市場にてお土産を購入した。  
バスの運転手が体調を崩してしまい、この日は途中から急遽別なバスとドライバーを雇ったが、バスのドアが壊れるというハプニングもあった。





08/23(日)

## ガーナからベナンへ移動 ホームステイ先へ

早朝にクマシからベナンへ移動。ガーナでお世話になったステイ先に挨拶をし、出発。



参加者の移動疲れはかなりあったが、途中休憩した場所で子供達と自ら触れ合う等、かなりアフリカ人らしい気質になってきた様子。



かなり遅くなってしまったが、無事ベナンのステイ先に帰宅。



08/24(月)

# ステイ先とお別れをし，お土産購入 打ち上げ

ベナンでお世話になったホームステイ先とお別れ。



ベナン土産を購入し，夜はビーチ沿いの野外レストランにて打ち上げ。それぞれの感想や想いを共有した。

中には「将来はアフリカで働きたい」と述べる参加者もいた。

